

# 終了あいさつ

2014/11/25

永田 哲

元 品質保証部長@キヤノン  
(9/1～完全年金受給者)

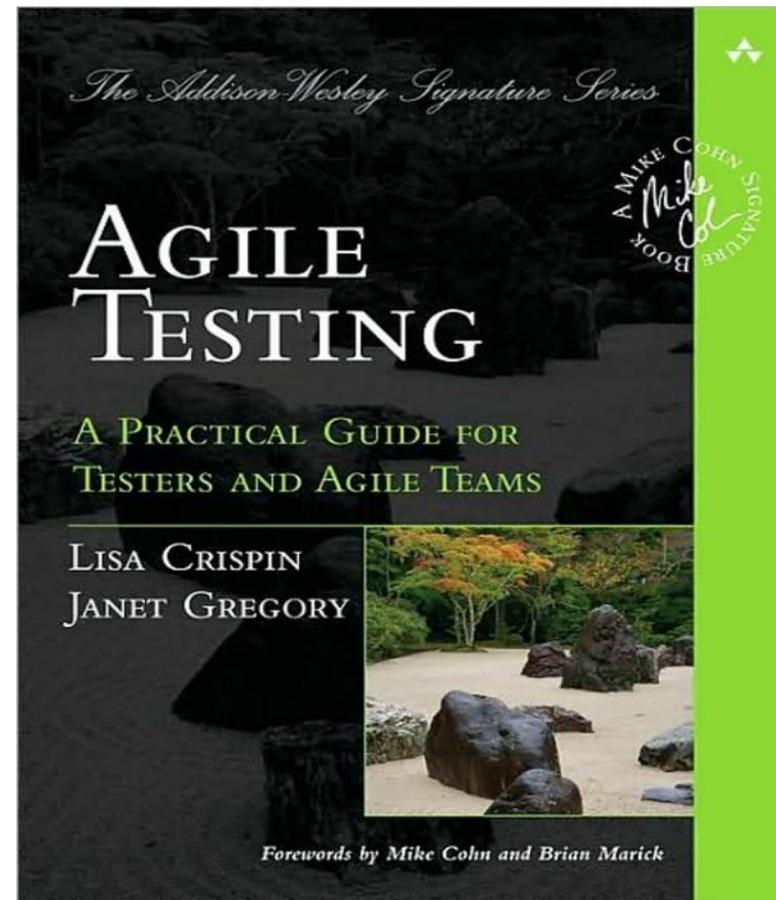
# 皆さんが組織の競争力向上に もっと貢献するには

- 品質は、それを作り込むエンジニアのスキルとモチベーションに大きく依存する（プロセスより人依存）
  - 質の良い人たち（プロ）が質の良いリソース（環境、時間、ツール）を与えられた時に質の良い製品／サービス（内部品質を含む）が作られる。そして達成感もある。
- ⇒ 組織の競争力の維持／向上（技術的負債はなるべく早く解消する）
- マネージャ／プロセスQAは、現場のエンジニアの健康状態、開発環境の質をチェックし、改善するための行動をとる
  - 良いエンジニアを大切にす文化・風土を作るのが開発／QAマネジメントの役目、さもないと「知」の競争に勝てない（中／長期的視野が必要）

# QAが開発力向上に直接的に寄与する

- ・問題: WF型開発のために極端に分業化(縦割り)し、プロセス重視になってしまった  
⇒ 顧客満足を増すには、WF型開発からAgile型開発に徐々に移行していくのが必然
- ・必要なこと: QAメンバーも開発チームに参加するにはスキルの幅を広げる必要がある  
⇒ (多能工化して生産性を増す)
- ・開発者による「品質の作り込み」を支援することになる(テスト可能な仕様を書く)
- ・テストの自動化には、テストしやすいアーキテクチャと単体／結合テストが必要
- ・その前にCI環境の構築が必要

# 「実践アジャイルテスト」を お読みください

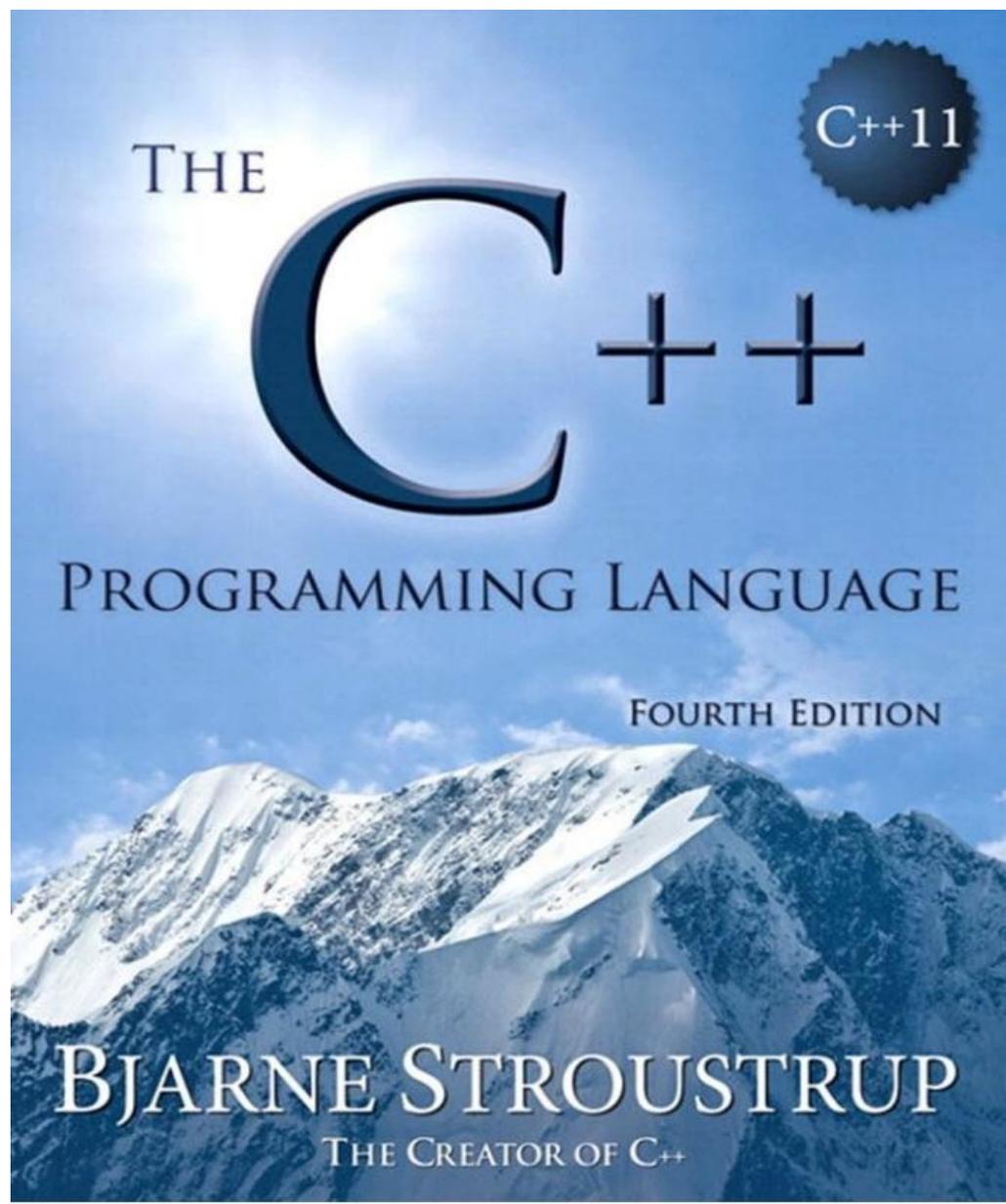


# C++も進化している(C++11/14)

- Stroustrup大先生の「The C++ Programming Language 4<sup>th</sup> Edition」
- LinuxならgccかClang、WindowsならVS2013

新規技術を吸収して、使って生産性を上げる

⇒ 速く先輩を超える



# SQiP併設チュートリアル 「関数プログラミング」から

- 山本和彦氏による素晴らしい「Haskell入門」だった



# 新人を鍛えて自分も鍛えよう

- 話題の関数型言語で頭を柔らかくしましょう
- Scala, F#よりも純粹関数型言語の**Haskell**
- 破壊的代入が難しい(不変と可変をはっきり区別し、不変がデフォルト)、強力なパターンマッチ、関数も値、関数の部分適用、関数の合成により複雑な処理ができる

## ⇒ 生産性が高い

- 実用的、コンパイルが通れば型に関する誤りが無い(型安全、型推論)、nullがない、データ型が豊富(直和型、代数データ型....)、並列(parallel)処理が得意、REPLで1行ずつ実行して確認できる

# 新人教育を担う

- 「プログラミング Haskell」、「すごいHaskell たのしく学ぼう」に加えて

Graham Huttonのチュートリアル

「A tutorial on the universality and expressiveness of fold」1999

を入社前の4ヶ月で学ばせて、入社時にテストする。

⇒ 良いプログラマ候補者を選別できる。

- 新人教育を人事に任せず、QAマネージャも一翼を担う

# 追加情報

「Agile Testing」の続編  
「More Agile Testing」  
が9/30に出版されてい  
ました。

テストに関してより新し  
い、詳しい情報が載っ  
ています。

